少々 青年部通信 平成二十八年 十一月号

平成28年度 中四国協議会 青年部交流会 in山口

台風が九州に沿って北上しているまさにそのタイミングで、中四国青年部交流会が山口県にて開催されました。正直行けるのかという心配と、瀬戸大橋を渡り本州入りする四国のメンバーは来る事が出来るのか！？という心配に加え、今日のうちに帰れるの！？という不安が入り混じっておりました。ですが中止との連絡は無く、ならばと予定より早い電車で山口入りし、山口銘菓「豆子郎本店」へ向かいました。新山口駅から山口線に乗り換え山口駅で下車、15分ほど歩けば見えてくる白壁の日本家屋が豆子郎本店。豆子郎(とうしろう)とは外郎(ういろう)の事で、甘さを控えた上品で且つしっかりとした小豆の風味が楽しめ、季節によって栗などが入ったものを味わう事ができる。ここ本社に赴けば四季を感じれる日本庭園、歴史を感じさせる茶器などが展示してある茶藏館を見学しつつ、作り立ての豆子郎をお茶と一緒に堪能する事が出来る。話題は逸れたが台風は逸れず、山口市を強風圏に巻き込みつつ北上したものの、勢力は弱まり熱帯低気圧へ姿を変え、日本海へ抜けていった。まさに豆子郎本店に居た頃が雨風共にピークだった。再び新山口駅に戻り、広島からの参加メンバーと合流するより先に高知県の部長・副部長と巡り合ったので、無事に瀬戸大橋を渡れた事を互いに安堵し合い、山口県の青年部長に会場まで送っていただきました。後の懇親会で高知県の副部長が、「本州の人間は風吹く瀬戸大橋を渡る事の重大さが分かっていない」とボヤいておられました。ご苦労様ですとしか返答出来ませんでした・・・。悪天候に見舞われましたが、定刻通りに会議は開会され今期青年部の全国代表に就任された鳥取県の鍬本氏より所信表明がありました。全理連の「儲ける先駆けとなる組織であって欲しい」との意向を受け「儲けるサロン作り」に向けた戦略の構築とセミナーの企画についての意見交換がなされました。各県一年間の出来事を報告し合い、学校訪問に関しては単独での説明会開催だけでなく合同の企業説明会などにカットのデモストレーションを組み込んだりと、広島では行っていない試みなども聞くことができました。理美容の垣根が低くなり激動の時代を迎えた理容業ですが、各県青年部員の熱意・創意工夫を目の当たりにし肌で感じる事で、青年部だからこそもっと出来る事があるのではと、熱い気持ちが込み上げてきたところで会議は閉幕。熱い気持ちを抱えたまま懇親会が開かれる「海鮮長州」へ到着、交流会よりディープな話の飛び交う懇親会がスタートしましたが、「討幕だ！攘夷だ！」という流れにはならなかったように記憶しております。

よくよく考えると、高知県で開催された中四国会議の時も台風が迫っていたような・・・。運が良いのか悪いのか。

理容ボランティアの日

広島東洋カープが25年ぶりに優勝を決め、興奮冷めやらぬ9月12日(月)青年部は献血ルーム 東部の「ばら」西部の「もみじ」「ピース」にて、マッサージ・ネイルケア・まゆカットなどの奉仕活動を行いました。今年はカープ優勝を記念し、カープのユニフォームを着た献血マスコット「けんけつちゃん人形」を配布していた影響あってか献血待ち時間が発生する状況に加え、献血ルーム「もみじ」の内部監査も重なってスタッフの方々は大忙し。こちらも負けじといつもに増して頑張らさせていただきました。献血に来られた皆様からは感謝とねぎらいの言葉を掛けていただき、充実したボランティアの日を過ごす事ができました。血液センターの方からも、感謝の言葉と来年も是非との要望をいただきました。来年も優勝キャンペーンと同時開催できるかな？